
つくし野三丁目の『街歩き』を実施

10月30日、防災・防犯の観点から街を点検

つくし野三丁目「街づくりを考える会」では10月30日(日)に『街歩き』を実施し、防災や犯罪の観点からつくし野三丁目の現状、問題点などを点検して回りました。

今年3月に策定された『つくし野三丁目地区街づくりプラン(憲章/目標・方針)』を具体化する一環として、“安全安心な住みよい街”について検討する参考に実施したものです。

参加したのは、街づくりを考える会々員、自治会役員、呼びかけに応じて参加した住民、それに町田市まちづくり推進課職員、市派遣のアドバイザーを加えた総勢20名で、2班に分かれ約2時間かけて三丁目地域を見て回りました。その後、つくし野センターに移動して全員で懇談、感想や意見を述べ合いました。

そこで出された主な意見は、分野別に

* 交通＝セントラルパーク角交差点や福寿院通りが危険。

カーブミラーが必要な場所がある。

* 防犯＝夜間の街をもっと明るくしてほしい。空き家対策が必要だと思う。

* 防災＝街中の消火器を増やし偏りを無くすべき。ハザードマップの様なものを作るとよい。

* その他＝高齢者が住み続けられる対策が必要、そのために近く(三丁目町内)に交流の場やお店がほしい。一方、若い人が住みたくなる街にするには建築協約の見直しをすべきである。

「街づくりを考える会」では、これらの意見を今後さらに吟味し、“安全安心な住みよい街”のプランにとり入れ、あるいは自治会との連携をはかっていく予定です。



傘を差して街歩き

[参加者の感想]① 普段見慣れている街を改めて見直すことができました(女性)。
② 男も地域に関心を持ち積極的に発言すべきだと思った(男性)。

「街づくり講演会」のお知らせ

皆様、お誘い合わせておいでください!

・日時：2012年1月15日(日) 15時30分～16時30分

・場所：つくし野センター 第2会議室

・演題：「首都直下型地震に備えて」

・講師：鶴沢賢一氏 [「街づくりを考える会」アドバイザー]

町田市街づくりフォーラム「はじめよう 身近な地区のまちづくり」に参加

・基調講演「防災と地域街づくり」講師 中林一樹氏 [明治大学特任教授、町田市街づくり審査会前会長]

・意見交換会「みんなで取り組むまちづくり」 ・市登録「街づくり団体」のパネル展示 当会など8団体

テーマは、現在私たち「街づくりを考える会」が取り組み始めた課題そのもので、大いに参考になりました。基調講演では“防災家づくり”(自宅の耐震対策、家具の配置・固定化など)や“防災まちづくり”(興味をもつテーマからはじめる、楽しむ防災)の話がありました。

中林教授が『日常のまちづくりが培う“地域の絆”こそが、災害に負けないまちづくりの底力です』と力説するのを聴き、地域こそっての街づくりが必要だと感じました。(副代表：中条)

裏面の〈防災達人テスト〉は当日の資料です。了承を得て転載しました。皆さん試してみてください。

防災達人テスト

明治大学中林研究室

- ①自宅はいつ建築されましたか。あるいは、いつ耐震補強をしましたか。
1.昭和45年以前 2.昭和46～55年 3.昭和56年(新耐震基準)以降
- ②新耐震基準でも築30年になります。耐震診断や補強で自宅の安全を確保していますか。
1.不安だが補強してない 2.最低限の補強はした 3.詳細な診断と必要な補強をした
- ③自宅の地盤条件は、良好ですか。
1.低地(谷底・盛土)で地盤が悪い 2.普通だと思う 3.台地(切土)で地盤は良い
- ④重たい家具の固定や納戸に家具を集めるなどの地震対策をしていますか。
1.とくにしていない 2.大きな家具は固定 3.納戸に家具を集めたり、固定した
- ⑤自宅は、火災になると燃えやすいと思いますか。
1.燃えやすいと思う 2.普通と思う 3.建替えや不燃カーテンなど燃え難くしている
- ⑥地震時に出火したとき、消火器などで、自分や家族で消し止められると思いますか。
1.困難だろう 2.消火できるかもしれないが自信はない 3.消す自信がある
- ⑦地震によって自宅が使えなくなった時、どこで生活するか考えたことがありますか。
1.全く考えたこともない 2.考えたが具体的な対策はない 3.避難場所を決めている
- ⑧負傷した家族や障がいがある家族の避難など、災害時の対応を、家族だけでできますか。
1.家族だけではできない 2.簡単な対応ならできる 3.家族で何とか出来る
- ⑨災害時に、家族間の安否確認など、連絡方法を考えていますか。
1.何も考えてない 2.考えたが具体策はない 3.伝言ダイヤルなど対策を講じている
- ⑩電気が停電している時の、自宅での生活を考えていますか。
1.何も考えてない 2.考えたが具体策はない 3.電池の備蓄など対策を講じている
- ⑪水道が止まった時の、自宅での生活を考えていますか。
1.何も考えてない 2.考えたが具体策はない 3.水の汲み置きなど対策を講じている
- ⑫ガスが止まってしまった時の、自宅での生活を考えていますか。
1.何も考えてない 2.考えたが具体策はない 3.携帯コンロなど対策を講じている
- ⑬自宅にある飲料水・食料で、電気・水・ガスが止まった時に何日ぐらい食べられますか。
1.食料はほとんどない 2.2,3日なら、しのげる 3.4,5日以上すごせる
- ⑭全体として、自宅での被害は、近所の家よりも厳しいものになると思いますか
1.近所よりも被害が大きいだろう 2.近所と同程度 3.近所より被害が少ないだろう
- ⑮自宅の被害が少なかったら、あなたは、地域の人たちを助けてあげられると思いますか。
1.助けられないだろう 2.少しはできるかもしれない 3.何をおいても助けるつもり

総合評価 解答番号 の合計点 <input type="text"/> 点	15点～22点	: 防災力が不足しています。自宅・家族・生活を見直しましょう
	23点～30点	: 防災力がまだ弱いです。家族で工夫し、防災力を高めましょう
	31点～37点	: 防災力がありますが、防災達人に向かって努力しましょう
	38点～45点	: 防災達人です。油断せず、防災達人のレベルを維持しましょう